



日本保全学会

東北・北海道支部

ニュースレター No.34

2025.1

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8577
仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学 流体科学研究所
内一研究室
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

東北大学第11回公開講座 「今、エネルギーを考える」のご報告

日時:2024年12月21日(土)13:00~16:15

会場:東北大学片平さくらホール開催

講演1「カーボンニュートラル実現を目指した電源構成と原子力開発の
目指す方向」

講師/NPO法人 ニュークリア・サロン 副代表

小竹 庄司(こたけ しょうじ) 氏

講演2「能登半島地震と日本列島の地震ハザード評価」

講師/東北大学災害科学国際研究所 教授

遠田 晋次(とくだ しんじ) 氏

東北大学大学院工学研究科が主催し、同大学流体科学研究所および日本保全学会 東北・北海道支部が共催する第11回公開講座「今、エネルギーを考える」が、2024年12月21日(土)に開催されました。

本講座は、エネルギー問題を多面的な視点から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考える素地を提供することを目的としたものです。

第11回目となる今回の講座は、昨年度と同様に東北大学片平さくらホールを会場としての開催となりました。

東北大学片平さくらホールには40名の方々にご参加いただき、盛会となりました。

講座では、カーボンニュートラルを目指すための課題や原子力の最新動向及び地震ハザードに関する貴重な内容を大変分かりやすくご講演いただきました。講師のお二方、ならびに熱心に聴講いただき、多くのご質問をいただいた参加者および関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

開催にあたり、日本保全学会 東北・北海道支部 支部長・東北大学流体科学研究所教授の内一哲哉氏より、開催の趣旨と今回の講演内容等に関する説明が述べられ、東北大学大学院工学研究科教授の遊佐訓孝氏の司会により進行されました。

はじめにNPO法人ニュークリア・サロン副代表の小竹庄司氏より「カーボンニュートラル実現を目指した電源構成と原子力開発の目指す方向」として環境と調和したエネルギーミックスと原子力開発の方向性について講演が行われ、遊佐訓孝氏をコーディネータに活発な質疑応答が行われました。



日本保全学会

東北・北海道支部

ニュースレター No.34

2025.1

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jism.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8577
仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学 流体科学研究所
内一研究室
URL :
www.jism.or.jp/branch/index.html



＜小竹庄司氏 ご講演の様子＞

休憩を挟んで、東北大学災害科学国際研究所 教授の遠田晋次氏より「能登半島地震と日本列島の地震ハザード評価」として2024年1月に発生した能登半島地震のメカニズムや地震時の状況及び、日本列島における地震ハザード評価の現状等について講演が行われ、東北大学大学院工学研究科教授の堂崎浩二氏をコーディネータにこちらも活発な質疑応答が行われました。



＜遠田晋次氏 ご講演の様子＞

閉会にあたり、東北大学大学院工学研究科教授の橋爪秀利氏より、講師のお二方へ感謝の言葉と講演内容の振り返り等が述べられました。



＜橋爪秀利氏 閉会の挨拶＞